

第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成22年9月30日(木) 6校時
学 級 4年3組 男子14名 女子17名 計31名
場 所 4年3組教室
授業者 教諭 上野 昌子

1 単元名 材料の選び方を考えよう

教材名 「アップとルーズで伝える」「四年三組から発信します」

2 単元について

(1) 教材について

第3学年及び第4学年における「B書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる」ことであり、「C読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。これを受けて、本単元は、「書くこと」の内容「ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。」と、「読むこと」の内容「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」の指導事項を重視し指導していく。

本教材「アップとルーズで伝える」は、テレビ画面における「アップ」と「ルーズ」の働きと効果について対比しながら順序立てて述べられており、キーワード、要約などの学習に適した文章である。ここで学んだ情報の取捨選択の方法を活かして「四年三組から発信します」では、自らが情報の発信者となり情報の収集、選択、発信を体験することができる。よって、相手や意図に応じて伝える情報活用の力を付けるのに有効であると考ええる。

(2) 児童について

児童は、4学年1学期の単元『『かむ』ことの手』において、中心語句や中心文に着目して要点をまとめてきた。また、「新聞記者になろう」では、テーマに沿って記事を書くことや、事実を明確にすること、相手に応じた文章の書き方などを学習してきた。しかし、伝えたいことを絞ることができず、テーマに沿ってはいるものの、情報が多すぎたり少なすぎたりすることで、わかりにくい記事になってしまったものも少なくなかった。

そこで、本単元では、水沢小学校の自慢紹介パンフレットを作るという学習活動を設定し、だれに、何を伝えるのか、という相手意識と目的意識を明確にもたせ、それにあつた情報を収集・選択させ、相手に分かりやすく伝わる文章を書かせていく。これらの活動の中で、書く上で必要な事柄を調べる力、書こうとするものの中心を明確にして書く力を育てたい。

(3) 指導にあたって

単元の「とらえる」段階では、水沢小学校の行事や人、ものの中から、水沢小学校の自慢を選び、文化祭で学校を訪れた家族に教える、という相手意識と目的意識を持たせる。

単元の「ふかめる」段階では、パンフレットづくりに必要な情報の取捨選択の仕方を学ばせるために、「アップとルーズで伝える」を読み進めていく。そのために、アップとルーズのそれぞれの長所・短所、目的に応じた使い分け、という視点で読み取っていく。最後に、写真に合ったキャプション(写真の短い説明)を付ける活動を行い、文章を短くまとめて説明をする力を育てたい。そして、「四年三組から発信します」のパンフレットづくりにつなげていく。

単元の「まとめる・ひろげる」段階では、一学期に学習した「新聞記者になろう」や「アップとルーズで伝える」の学習を活かして、取材で集めた様々な情報や写真の中から、相手や目的に合うものを選び、パンフレットにまとめる活動を行う。その際に、グループごとに編集会議を行い、送り手の意図と、受け手の興味の二つの視点から情報を選択できるように、十分に話し合いをさせる。そして、伝えたいものの中心をはっきりさせるために、情報を選択するという活動を学ばせたい。完成した記事を見合い、相手や目的に応じた情報の選択について、工夫点などを交流し合う。お互いに評価し合いながら、単元で学んできたことを全体で振り返る。そして、家族に実際に作ったパンフレットを見てもらって、感想をもらい、自分の書こうとすることが伝わったか振り返りをし、学習のまとめとする。

(4) 活用させたい「知識・技能」

(既習) 事項 ○前学年●前単元	既習事項の活用・本単元
<p>【C 読むこと】 「説明的な文章の解釈」 ●中心語句や中心文に着目して要点をまとめる。 ○写真をもとに読むことができる。</p> <p>【B 書くこと】 「課題設定や取材」 ●新聞に取り上げる話題を選んで、取材する。</p> <p>○本での調べ方を知り、分かりやすくまとめる。</p> <p>「記述」 ●書こうとすることの中心を明確にして書く。</p> <p>「推敲」 ●誤字脱字や文章の間違いを正して、書き直す。</p>	<p>【C 読むこと】 「説明的な文章の解釈」 ・写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズの特徴をまとめる。</p> <p>【B 書くこと】 「課題設定や取材」 ・相手や目的に合わせて知らせたいものを決め、材料を集める。</p> <p>・知らせたいものに合わせて、調べる方法を選択する。</p> <p>「記述」 ・知らせたいことの内容を明確にし、目的や相手に応じて書く。</p> <p>「推敲」 ・文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする。</p>

3 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語の関心・意欲・態度	○相手や目的に合わせて、何をどのように伝えるかを考えることができる。	・相手・目的意識を明確にして、知らせたいことを発信しようとしている。
読む能力	○目的や必要に応じて、文章の要点に注意しながら読み、文章を要約することができる。(エ)	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめている。 ・写真に合うキャプション（写真の短い説明）を書いている。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ◎関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要なことを調べることができる。(ア) ○文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・取材した事柄を相手に応じて分かりやすく書いて知らせている。 ・書こうとする題材に必要な事柄を集めている。 ・友だちの考えを取り入れ、加筆・修正を行っている。
言語についての知識・理解・技能	○句読点を適切に打ち、また、段落の初め、会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書くことができる。(伝イ (エ))	・句読点を適切に打ち、まとまりごとに行を改めて書いている。

4 単元指導・評価計画（15時間扱い）

		目 標	○学習課題 ・主な学習活動 ☆主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
とらえる	1	水沢小学校について発信していくという活動に興味をもち、これからの学習に見通しをもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のめあてを知り、学習計画を立てよう。 ・単元名とリード文、「四年三組から発信します」を読み、学習の見通しをもつ。 ・文化祭で学校を訪れる家族のために水沢小学校のじまんについて教えるというめあてをもち、学習計画を立てる。 ☆相手意識・目的意識を明確にもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手・目的意識を明確にして、知らせたいことを発信しようとしている。 【関・意・態】 (発言・ワークシート)

とらえる	2	発信する題材を 考えることができ る。	○水沢小学校の中のじまんをさがそう。 ☆水沢小学校のもの、人、行事の中から考え させる。 ・じまんだと思う理由を、全員で共有する。 ・何について発信していくのかを決める。	興味・関心をもって、 水沢小学校のじまんを 見つけようとしている。 【関・意・態】
ふかめる	3	「アップとルーズ で伝える」の内容に 興味をもつことが できる。	○「アップとルーズで伝える」はどんな説明 文なのか、考えよう。 ・題名から、何についての文章なのかを考え る。 ・教材文を通読し、段落を確認する。 ・何について書かれた文章か確認する。 ☆テレビでサッカーの試合の放送について書 かれていること、「アップ」と「ルーズ」はそ のときの映し方であることを押さえる。	アップとルーズの効 果について、興味をもっ ている。 【関・意・態】
	4	アップとルーズ の意味や長所、短所 について読み取る ことができる。	○画面をうつすときに、どんな工夫をしてい るのだろう。 ・「アップ」と「ルーズ」の意味を知る。 ・それぞれの長所と短所を知る。 ☆写真で、アップとルーズ比べながら、読む。	アップとルーズの意 味や長所・短所について 読み取っている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
	5	アップとルーズ が目的に応じて使 い分けられている ことを読み取るこ とができる。	○「アップ」と「ルーズ」はどのように使い 分けたら良いのだろう。 ・テレビや新聞での使い分けを知る。 ☆実際の新聞を見て、使い分けられているこ とを確認する。 ・パンフレットも使い分けられていることを 知る。	アップとルーズが目 的に応じて使い分けら れていることを読み取 っている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
	6	写真にあったキャ プションを付け ることができる。	○写真にキャプションを付けよう。 ・キャプションがあると文章がより分かりや すくなることを知る。 ・写真にキャプションを付ける。 ☆1枚目の写真を使い、キャプションの付け方 を練習する。	写真にあったキャプ ションを付けている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
ひろげる	7	「四年三組から発 信します」を読み、 これからの学習の 見通しをもつこと ができる。	○水沢小学校のじまんでどのように伝えるか を考えよう。 ☆時間がない中で読む等の読み手の条件か ら、伝える方法を考える。 ・「新聞記者になろう」の学習を想起する。 ☆相手に伝わりやすい新聞を作るためにどん な工夫をしたかという視点で考えさせる。 ・通読し、学習の見通しをもつ。	自分たちが知らせた いことや、相手が知りた いことをまとめる活動 に意欲を持っている。 【関・意・態】 (観察・発言)
	8	学校の自慢につい てどのように伝え るか、大まかなイメ ージをもつことが できる。	○分かりやすく伝える工夫を考えよう。 ・メモの取り方・活かし方を知る。 ☆モデル文と比較して、工夫をとらえる。 ・「選んで伝える」を読む。 ・写真の使い方を見る。 ☆「アップとルーズで伝える」で学習したこ とを想起させる。	新聞の効果的な伝え 方について、自分の考え をもっている。 【書く能力】 (ワークシート・発言)

ひろげ	9	関心のあることなどから伝えることを決め、相手や目的に応じて、何について調べるのかを考えることができる。	○パンフレットで伝えることを決めよう。 ・水沢小学校のじまんの中からパンフレットで伝えることを絞る。 ・何について発信するかを決め、その理由をグループで交流し合う。(編集会議①) ☆自分が一番伝えたいこと、相手が知りたがっていることという視点で考えさせる。 ・調べる方法を選ぶ。	相手や目的に合わせて、調べることを決めることができる。 【書く能力】 (観察・ワークシート)
	10 11 12	伝えたい内容に必要なことを調べることができる。	○取材をしよう。 ・伝えたい内容に関わって取材カードを書く。 ・距離や角度を工夫して写真を撮る。 ☆事柄ごとに取材カードを分ける。	伝えたい内容に必要な事柄を集めている。 【書く能力】 (取材カード・写真)
	13	相手や目的に合わせて、取材カードや写真を選ぶことができる。	○取材カードと写真を選ぼう。 ・取材カードと写真を選ぶ視点を考える。 ☆モデルとなる取材カードと写真を全体で選び、視点を確認する。 ・視点を基に、取材カードと写真を選ぶ。 ・選んだものを、グループで確認する。(編集会議②)	取材カードや写真を、伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるように選んでいる。 【書く能力】 (取材カード・写真)
	14	取材カードをもとに、相手に分かりやすく伝わるように、文章に書きかえることができる。	○取材カードをもとに、文章を書こう。 ・モデル文を読み、分かりやすい文章に書きかえるための工夫を確認する。 ・見出しや割り付けを考える。 ・下書きを見直し、誤字脱字などが読み返す。	取材カードを、伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるように文章に書きかえている。 【書く能力】(下書き)
	15 ・ ⑩ 本 時	下書きの文章を見直し、間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。	○よりよいパンフレットにするための工夫を考えよう。 ・よりよい表現に書きかえるためのポイントを、モデル文を使い、確認する。 ・演習をする。	友だちの考えを取り入れ、加筆・修正を行っている。 【書く能力】 (下書き・推敲カード)
			○下書きを推敲しよう。 ・記事を持ち寄り、テーマに合っているか、相手に伝わる内容か等について、推敲し合う。(編集会議③)	
	17	文章を清書して、パンフレットを完成させることができる。	○清書をしよう。 ・グループで推敲した下書きをもとに、清書する。 ・清書した記事に写真を合わせ、パンフレットを完成させる。	下書きを基に、よりよいパンフレットにしようとして工夫している。 【書く能力】 (清書)
	18	学習活動全体を振り返り、相手や目的に応じた情報の選択について、自分の考えをもつことができる。	発表会をしよう。 ・他のグループの作品を見て、工夫点などを述べ合う。 ☆「選んで伝える」で取り上げていることや「アップとルーズ」が効果的に使われている新聞を取り上げる。 ・自分たちの活動を振り返る。	自分の取り組みについて、今まで学んだことを視点に振り返り、自分の考えをもっている。 【書く能力】 (発言・観察)

5 本時の指導 (16/18)

(1) 目標

下書きの文章を見直し、間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。

(2) 本時の指導にあたって

本時は、個人で書いた下書きを、グループで推敲する学習である。

下書きの段階では、読み手を意識はしてきたが、実際に読み合うことはなく、送り手の意図が強い。そこで、互いに推敲し合うことで、読み手としての立場からも文章を読み、より伝えたいことがはっきりしている文章へ高めていく。そのために、推敲されたものをグループで話し合わせることで、それぞれの意図を明確にさせる。そして、書き手の意図と読み手の興味を活かした清書へとつなげていきたい。

〈仮説との関わり〉

- 手立て1 ・文章を、相手や目的に応じてよりよい表現に書き直す。
- 手立て2 ・推敲したものをグループで視点に沿って話し合い、思考を深めさせる。
・話し合いで下書きがどのように変わったのかを全体で交流し、高まりを広める。
- 手立て3 ・本時では、身に付けた力を確認できるような振り返り、友達のよさ、学んだことなどを授業の中で取り上げていく。

(3) 展開

	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価の観点	準備・資料
と ら え る 3 分	<p>1 前時までの振り返りをする。 ・掲示で、前時までの学習の振り返りをする。</p> <p>2 本時の課題を確認する。 下書きをすいこうしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える相手（家族）と目的（文化祭で見てもらう）を確認し、そのために分かりやすいパンフレットにしていることを確認する。 ・交流しながら、下書きを推敲していくことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下書き（児童） ・学習計画表
た し か め る 37 分	<p>3 課題解決の見通しをもつ。 ・推敲する視点を確認する。</p> <p>○文章を短くまとめている。 ○一番伝えたいことを詳しく書いている。 ○文章にあった写真を入れている。 ○写真について短い説明を書いている。 ・文末がそろっている。 ・見出しを大きく書いている。 ・書いた文章の中の言葉を見出しにする。 ・一番伝えたいことが見出しになっている。 ・文字を正しく書いている。</p> <p>4 課題を解決する。 (1) 同じグループの下書きを推敲する。 ・相手の下書きを読み、視点に沿って推敲する。 【活用】手立て1 文章を、相手や目的に応じてよりよい表現に書き直す。</p> <p>(2) 推敲したものを、グループで話し合う。 (編集会議③) 【活用】手立て2ーイ ・推敲したものをグループで視点に沿って話し合い、思考を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の掲示を使い、推敲する視点を確認する。 ・とくに、文章を短くまとめる、一番伝えたいことを詳しく書く、文章にあった写真を入れる、写真について短い説明を書くという4つの視点を重点的に、推敲していくことを確認する。 ・司会が、グループの一人ひとりによいところ、アドバイスを聞きながら編集会議を進めさせる。 ・編集会議の時には、理由も合わせて伝えることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の掲示（モデル）

	<p>(3) 編集会議を基に下書きを推敲する。</p> <p>5 交流し、考えを広める。 ・下書きの高まりを全体で確認する。</p> <p>【活用】手立て2ーイ</p> <p>・話し合いで下書きがどのように変わったのかを全体で交流し、高まりを広める。</p>	<p>【目指す姿】 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、下書きを推敲することができる。</p> <p>【評価規準】(書く能力) 友だちの考えを取り入れ、加筆・修正を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="798 421 1276 593"> <tr> <td data-bbox="798 421 1005 465">《具体的評価規準》</td> <td data-bbox="1005 421 1276 465">努力を要すると判断された児童への具体的な手立て</td> </tr> <tr> <td data-bbox="798 465 1005 510">B</td> <td data-bbox="1005 465 1276 510"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="798 510 1005 593">分かりやすく伝わるように推敲している。</td> <td data-bbox="1005 510 1276 593">伝えたいことを明確にさせ、それについて書かれているかを確認する。</td> </tr> </table> <p>・どのように下書きが変わったのかを発表させる。 ・スクリーンで推敲されたものを見ながら確認する。</p>	《具体的評価規準》	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	B		分かりやすく伝わるように推敲している。	伝えたいことを明確にさせ、それについて書かれているかを確認する。	<p>・スクリーン ・実物投影機</p>
《具体的評価規準》	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て								
B									
分かりやすく伝わるように推敲している。	伝えたいことを明確にさせ、それについて書かれているかを確認する。								
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。 (1) 自己評価と感想を記述する。</p> <p>【活用】手立て3</p> <p>・今日の学習で分かったこと、気付いたこと、という視点で学習の振り返りをさせる。</p> <p>(2) 感想を発表する。</p>	<p>・学習課題に基づいて判断基準を示し本時の学習をふり返らせ、自己評価させる。</p> <p>・次時は、推敲した下書きを活かして、清書することを伝える。</p>							

(4) 板書計画

<p>まとめ</p> <p>○文章を短くし、伝えたいことを詳しく書き、文章にあった写真を入れ、それについて短い説明を書くと、分かりやすいパンフレットになる。</p>	<p>下書き (モデル)</p> <p>良いところ</p> <p>アドバイス</p>	<p>推敲のポイント</p> <p>○文章を短くまとめている。 ○一番伝えたいことを詳しく書いている。 ○文章にあった写真を入れている。 ○写真について短い説明を書いている。</p>	<p>課題 下書きをすいこうしよう。</p>	<p>スクリーン</p>
--	--	---	----------------------------	--------------